

One to One

県内各地でつながる、NPO支援のネットワーク

仙南・大崎地域で「NPO・市民活動情報交換会」開催

「隣の市、町ではどんなNPO支援が行われているんだろう？」
「自分達が感じているこの課題、他の市、町ではどうやって解決しているんだろう？」
知っているようで知らない、隣の市町のNPO支援の取組や課題について、担当者同士が意見を交わす「NPO・市民活動情報交換会」が、仙南地域、大崎地域で開催され、各地域のNPO支援組織、行政、社会福祉協議会などが集まりました。



▲仙南 NPO・市民活動情報交換会

NPOと市民の想いをつなぐ場所

1月26日、大河原合同庁舎で開催された仙南地域での情報交換会には、「しばたまち交流ひろば ゆる.ぷら」のスタッフが参加し、2/21にオープンした広場の紹介を行いました。

「ゆる.ぷら」は、イオンタウン柴田ショッピングセンター内に柴田町が設置した、まちづくりの活動拠点施設です。約60坪の敷地内には、誰でも使える“サロンスペース”や、会議にも使える“多目的スペース”、活動展示が出来る“ギャラリースペース”が設けられ、町内の市民活動のイベント講座情報を集めたコーナーも設置されています。

参加者からは、NPOの活動拠点となる支援施設

の必要性についての意見も出されましたが、この「ゆる.ぷら」が今後、柴田町での、NPOと市民が集う施設となっていくことが期待されます。

しばたまち交流ひろば ゆる.ぷら

イオンタウン柴田ショッピングセンター内
(柴田町大字上名生字新大原194-1)
TEL:0224-86-3631 FAX:0224-86-3641

■開館時間:午前10時から午後6時まで

※講座実施など夜間開館の場合もあり

■休館日:原則月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日休館)



住民自治組織の課題を掘り起こす

1月29日、大崎合同庁舎で行われた情報交換会に参加した「大崎地域創造研究会」は、大崎地域の住民自治組織を対象に、地域課題抽出のためのワークショップなどを行い、解決へと導くための支援を行っています。平成18年に1市6町が合併して誕生した大崎市。旧町単位で組織された「まちづくり協議会」や「地域づくり委員会」が、それぞれの地域独自の課題を見つけ、事業を生み出し、コミュニティビジネスや、行政との協働へとつなげていくためのお手伝いをしています。「事業化には、住民自治組織内に事務局体制をつくることが不可欠。そのためには、NPO支援組織と連携して人材育成することも重要」と語る、事務局長の小玉順子さん。地域におけ

るNPO支援組織の役割についても考える機会となりました。

仙南、大崎地域とも参加者からは、他の市町の取組を知る事が出来て有意義だったという感想が寄せられました。中でも、社会福祉協議会から出された「福祉分野で活動している団体以外の情報が集まらない」、行政担当者から出された「地域限定で活動している住民自治組織と、地域に限定されないNPO・市民活動団体を連携させていく仕組みづくりが必要」という課題には、参加者それぞれの立場から意見が交わされました。

みやぎNPOプラザでは、今回の情報交換会で出された課題をもとに、次年度以降も地域のNPO支援のための事業を展開していきます。

これからのNPO支援を考える

みやぎNPOプラザでは、宮城県内のNPO支援センター、支援組織の機能向上を目的とした研修会を年に数回実施しています。1月15日(金)に開催した、今回の研修のテーマは「NPOの窓口相談対応とこれからのNPO支援」。NPO支援センターには欠かせない窓口相談と、これからのNPO支援のあり方について考えました。

情報交換から見えてきた、共通課題と地域の課題

第一部では、宮城県内のNPO支援センターのうち、5つのセンターから現場スタッフが参加し、各センターの窓口相談の現状や課題を報告しました。

共通の課題は「経験不足」

各センターが抱える課題として共通していたのは「経験不足」です。自治体が運営するセンターでは、職員の定期異動のためスキルや経験がなかなか蓄積されないといえます。NPOが指定管理するセンターでも、スタッフによる経験差が大きいため、対応するスタッフによって相談者への情報提供に差が出ていることが課題として挙げられました。そうした経験差を少しでも埋めるため、月2回の休館日を利用し、ミーティングでケーススタディを行っているというセンターもありました。ミーティングには全スタッフが参加し、センターで行った全ての事例について振り返り、情報



共有を行います。これには、「自分のセンターでも取り入れていきたい」という参加者の声もありました。

地域の特性に合わせた支援を展開

その他、ホームレス支援団体への寄付の問合せや、NPOの信頼性に関する問合せが増加しているという報告もありました。こうした事例からは、NPO支援センターが、NPOと市民をつなぐ窓口として認識されつつあることがうかがえます。

また、NPO・市民活動団体に留まらず、自治会・町内会・生涯学習団体からの相談も受け付けているセンターもあり、地域のニーズや特性に合わせた支援を行っている例も報告されました。

「NPO支援」の活動は目に見えにくい分野ではありますが、各地域で支援センターが試行錯誤しながら、地域のNPOの活動発展のため尽力しています。しかし、同じ支援センターとは言え、集まって意見を交わす機会は多くありません。宮城県内のNPO支援の向上のために、より情報交換を密にし、連携を深めていく必要があるといえるでしょう。

宮城県からのお知らせ

「宮城県民間非営利活動促進基本計画(案)」パブリックコメント募集中!

平成22年度に見直しされる「宮城県民間非営利活動促進基本計画(案)」について、みなさまからのご意見を募集しています。

「宮城県民間非営利活動促進基本計画」とは？
「宮城県の民間非営利活動を促進するための条例」第9条に基づき、県内のNPO活動の促進を総合的かつ計画的に推進していくための基本的な計画として平成12年に策定され、平成17年に改訂されました。計画改訂後5年経過を目途に、NPO活動を取り巻く現状と課題の検証等を行って見直しをしています。

計画の策定において県民のみなさまのご意見を広く取り入れていきますので、ぜひ、みなさまの現場の声をお聞かせ下さい!

詳しくは、宮城県環境生活部共同参画社会推進課NPO・協働社会推進班のホームページをご覧ください。

<http://www.pref.miyagi.jp/kyosha/npo/NPOtop.htm>

問 共同参画社会推進課NPO・協働社会推進班 TEL:022-211-2576

NPO 支援の突破口 キーワードは“コモンズ”

第二部では、風見正三さん(宮城大学事業構想学部事業計画学科教授)が「これから期待される地域でのNPO支援について」と題し講演を行いました。コミュニティビジネスやソーシャルビジネス、事業型NPO等の研究に積極的に取り組んでいる講師から、今後のNPO支援組織のあり方について学びました。



△風見正三さん

持続可能な社会を支えるコモンズ

地球環境問題の深刻さが顕在化した80～90年代がターニングポイントとなり、「持続可能性」の概念が世界的に認識されるようになりました。持続可能性とは、将来の世代に負担をかけずに今日の世代がいかに発展できるかということで、そのために欠かさないのが「コモンズ(共有地)」の視点です。コモンズの持つ“地域の自然環境を貴重な共有財産として考え、皆で管理する”という概念は、持続可能な社会の創造にとって重要な視点となってきます。

地域を支援する社会的事業

持続可能な農業の先駆的な事例のひとつが、「NPOふうど」(埼玉県小川町)です。農家の方々が中心となり、自然エネルギー研究会設立や生ゴミの資源化、地域通貨導入による地産地消の促進を通じ、循環型社会の創造に取り組んでいます。このように生活の主体である市民が、自らの手で公益事業を担い、適正な利益を求め、社会貢献と経済発展を両立させる時代がすでに到来しているのです。

NPOの経営面をサポート

これからのNPO支援組織に求められる要素は、NPOへの情報提供のみではなく、経営的センスです。補助金だけに頼るのではなく、卓越した経営手腕によって事業をビジネス化し、事業継続可能で自立した資金繰りシステムを構築できるよう、NPOにアドバイスできることが必要となってきます。

また、コモンズの視点に立ち、商店街やNPO、企業、行政など様々な分野が集い、ワークショップを通して多角的にビジネスのアイデアを考えることも必要です。こういった戦略的なビジネスマッチングのしかけをしていくことも、NPO支援組織に必要な役割のひとつとなってきます。



現状では、社会的事業を適正な利益を得ながら継続しているNPOはほとんどありません。NPO支援組織にも、NPOに経営アドバイスができる人材確保が必要であるという新たな課題が残されました。

アンケートからは「NPO支援組織としての役割の重要性を学んだ」「地域全体を考えた支援活動の大切さを実感した」という声がありました。参加者にとって、新たな社会貢献の形を知り、これからのNPO支援の方向性を見直す貴重な機会となりました。

まちづくりの集い



様々な分野で活躍する団体や、まちづくりに関心のある方々が一堂に会し、“もっと住みよい”地域づくりについて考えます。

内容
 第一部 基調講演「はまらいんや!おらほのまちづくり」
 講師: 萩原なつ子さん(立教大学社会学部社会学科教授)
 第二部 意見交換会

市民活動パネル展示も同時開催

- 日 時: 3月14日(日) 13:00～16:00
- 会 場: やすらぎ(鹿折公民館)
- 参加費: 無料
- 主 催: 気仙沼市、気仙沼市まちづくり協働推進委員会、気仙沼市社会福祉協議会、気仙沼市民憲章推進協議会、みやぎ地域づくり団体協議会気仙沼・本吉支部

問 気仙沼市民活動支援センター TEL: 0226-22-3409

みやぎNPOプラザ 出前講座

NPOのための資金調達セミナー



ファンドレイジング(資金調達)の基本や情報公開について学び、助成金申請書をつくるワークショップを行います。日本財団職員が申請書作成のポイントを伝授します。

《講師》和田真さん(日本財団 海洋グループ 海洋安全チーム)

同時開催

宮城県からのお知らせ
 「宮城県民間非営利活動基本計画(案)」パブリックコメント募集、意見交換会(13:30～14:00)

- 日 時: 3月18日(木) 13:30～16:00
- 会 場: 気仙沼市地域交流センター(ワン・テンビル2階)
- 資料代: 500円
- 主 催: みやぎNPOプラザ(特活)ネットワークオレンジ

問 みやぎNPOプラザ TEL: 022-256-0505

NPOのイベント講座

4/16 金 NPOのための 総会開催のポイント

1年の団体活動を、わかりやすく会員や市民に伝える事業報告書の作成方法を、実例をもとに解説。事業年度終了後の関係各庁への届け出など、総会開催とその後の手続きを、1から学びます。

- 日 時：4月16日(金) 14:00~16:00
- 講 師：大久保 朝江さん(特活)社の伝言板ゆるる代表理事)
- 対 象：初めての総会開催にお困りのNPO・市民活動団体(定員20名)
- 資料代：500円

NPOのための会計・税務講座

4/20 火 チェックリストで万全! ドンとこい! NPO法人の会計監査

NPO法人にとって、会計処理が正しく行われていることは、会員や寄付者を納得させ、さらなる支援の輪を広げるチャンスになります。会計監査のポイントを学び、クリーンな運営で、団体の信頼度をさらにアップさせましょう!

- 日 時：4月20日(火) 13:30~16:30
- 講 師：橋本 潤子さん(公認会計士)
- 対 象：NPOの役員、監事、会計担当者。関心のある方など(定員20名)
- 資料代：1,000円

NPO活動を始めたい!

5/1 土 50歳からのNPO実践塾 第5期生募集!

ミドル&シニア対象に毎回好評の「50歳からのNPO実践塾」第5期がスタートします。NPOの基礎知識を学び、社会に貢献できる充実した“セカンドライフ”探しをしませんか?

- 日 程：①5/1(土) ②5/15(土) ③5/29(土)
④6/12(土) 現場訪問※詳細は後日決定
⑤6/13(日)~7/2(金) 希望日にNPO一日体験
⑥7/3(土)
- 時 間：①②③⑥14:00~16:00
- 対 象：おおよそ50歳以上のミドル&シニア(定員10名)
- 参加費：4,500円(ボランティア保険、テキスト代込)

NPOのための専門相談

■会計・税務相談...→3/26(金)、4/23(金)

◎相談対応：税理士 平野由紀子さん

■雇用なんでも相談...→4/15(木)

◎相談対応：社会保険労務士 猪狩慎一さん

■ボランティア相談...→3月 毎週火曜日

◎相談対応：みやぎNPOプラザ副館長 藤田佐和子さん

■法人設立・団体運営相談...→毎週水曜日

◎相談対応：みやぎNPOプラザ館長 大久保朝江さん

●時間：13:00~17:00

●定員：各3団体(相談時間：1団体1時間程度)

※事前予約が必要です。(申込締切：開催日の6日前)

みやぎNPOプラザ TEL:022-256-0505 FAX:022-256-0533 E-mail:npo@miyagi-npo.gr.jp

- 申込：講座・専門相談は要予約。所属団体・参加者氏名・連絡先・電話・FAX番号・質問事項をご記入のうえ、FAX・メール・電話にてお申込み下さい。
- 主催：宮城県(みやぎNPOプラザ) ●企画・実施：特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる

■新規のNPO法人認証団体

(平成21年12月9日~平成22年2月12日まで)

宮城県のNPO法人数 **538団体** (平成22年2月12日現在)

※解散、所轄庁変更、認証取消、認証撤回した団体を除く。

団体名	所在地	活動内容
中田暮らしネットワーク	仙台市太白区	セミナー等教育研修事業、買い物代行による商店会と住民の橋渡し事業等
ベビーライフセンター	仙台市青葉区	ベビーシッター事業等を通じた子育て支援
どんぐりの森	仙台市青葉区	野生動物が暮らせる森をつくる事業
せんだいらっこ	仙台市宮城野区	介護保険法に基づく居宅サービス事業、介護予防サービス事業及び高齢者等を対象とした一般旅客運送事業
新田あるものさがしの会	登米市	講演会や研修等をとおしたまちづくり支援事業、各種資源の調査研究事業
LEAP	仙台市若林区	幼稚園児、小学生に対してのスポーツ教室
まきばフリースクール	栗原市	不登校、引きこもり等の問題を抱える本人や家族の支援等
ウェルビーイングネット	栗原市	居宅介護支援事業、家族介護者支援事業等の高齢者及びその家族や介護従事者等関係者支援事業
輝らら会	大崎市	障がい児の放課後ケア及び長期休暇ケア事業等
福祉・医療情報ネット	仙台市青葉区	医療施設等に対するソフトウェア販売
東北の造形作家を支援する会	仙台市青葉区	画廊の経営及び芸術作品の展示等による作家支援

One to One

発行日：2010年 3月 1日
発行：宮城県民間非営利活動プラザ(みやぎNPOプラザ)
編集：特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる
編集スタッフ：莊司紗敏 菅原牧枝

〒983-0851 宮城県仙台市宮城野区榴ヶ岡5
TEL: 022-256-0505 FAX: 022-256-0533
e-mail: npo@miyagi-npo.gr.jp
URL: http://www.miyagi-npo.gr.jp

2010
MARCH
vol. 54

「One to One」は、県内各地でのさまざまなNPO活動により、ひととひとが信頼でつながって、よりよい市民社会が形成されるよう願いを込めたニュースレターです。